

Eschart Ver1.2 はFFT解析もびゅんびゅん

Eschart (エスチャート) の大幅アップデートが実施され、これまで要望の多かった、任意の時間 (波形) によるFFT解析 (スペクトラム変換) が搭載されました。さらに積算や実効値計算なども搭載され、ますます解析効率がアップいたします!

Eschart
 パーマnentライセンス (ロードロック)
 +180日間サポート
 89,000円 (税抜)

サポート期間中は最新のバージョンを使用できます。サポート期間が終了しても、期間中の最新バージョンでエスチャートを使用し続けることができます。

+365日間サポート
 16,000円 (税抜)

動作環境

- Microsoft Windows 10 Pro 64bit
- Microsoft Windows 7 SP1 64bit
- .NET Framework 4.7.1 以降

Inspector

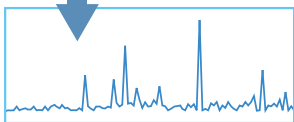
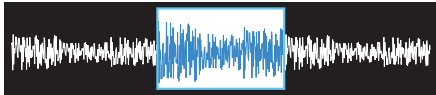
X-Axis
 Cursor: Off On
 Range Cursor: Off On
 Time Unit: Auto
 Digit: 3
 Cursor Time: 0.382552386354778 [ms]
 Minimum: 0 [ms]
 Maximum: 0.999999 [ms]
 View Minimum: 0.28926426 [ms]
 View Maximum: 0.77630533 [ms]
 Major Grid: Off On
 Minor Grid: Off On

Y-Axis
 Maximum: 0.022
 Minimum: -0.0244
 Major Grid: Off On
 Minor Grid: Off On

Series
 Chart Name: Voltage Noise
 Series Name: 100mA
 Unit: V
 Visible: Off On
 Point Count: 1000000
 Line Thickness: 1
 Line Color: #FFFFFF7F
 Marker: Off On
 Rollover Marker: Off On
 Digital Line: Off On

Statics
 Selected Series: 100mA

Time Domain Chart



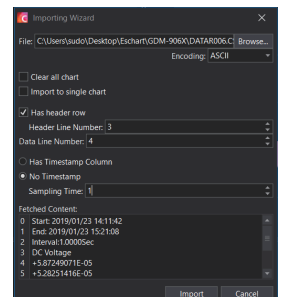
Spectra Chart

複数の波形データから、見たい波形 (時間幅) でFFT演算が可能! オシロスコープの機能と組み合わせるとノイズの特定やフィルタの選定に

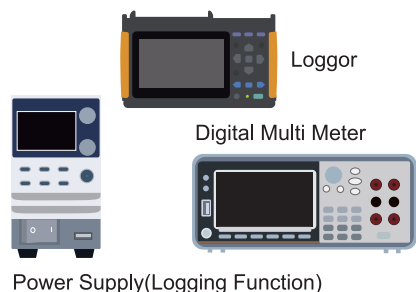
上の画面はスイッチング電源のリップルノイズ電圧波形を黄色 (100mA: 負荷小さい) と青 (30A: 負荷大きい) の2種類の波形を同じ時間幅でFFT演算したものです。どちらの波形にも150kHzのスイッチング周波数が起因するノイズが含まれていますが、負荷を大きくすると270kHzのノイズが大きくなるのがわかります。オシロスコープのFFT解析では、変換波形がどの程度のサンプルから変換されたかが非常にわかりにくいですが、エスチャートを使用すると、見たい波形 (時間幅) で複数のFFT波形を比較することが簡単にできます。

計測器ごとに違うCSVのファイル構造にも対応。サンプリング時間も任意の指定が可能。

Ver1.2からCSVファイルのヘッダーデータを行数を指定し、サンプリング時間などをダイレクトに入力することで、要望の多かったデジタルマルチメータや直流安定化電源 (ロギング機能) のCSVファイルも、直接読み込めるようになりました。また電気測定器にとらわれず、時系列のデータであれば温度計・湿度計・ひずみゲージ・騒音計・風力計さらにはVector社に代表されるCANalyzerなどのシリアルバスのログデータなどもグラフ化することができます。



あらゆるCSV構造に対応



囲んだ範囲の積算にも対応



カーソル間の測定内容も積算演算も追加。さらにカーソル間のデータをCSVエクスポート。

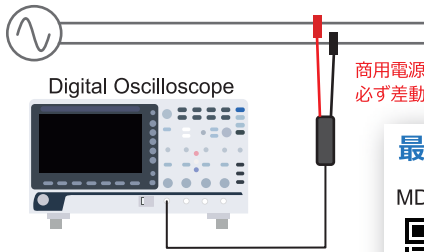
従来のPeak to Peak、最大/最小/平均などに加えて、実効値 (RMS) や積算に対応。また、カーソル間をそのままCSVファイルとしてエクスポートできます。

まずは30日間試用版で
 ご評価下さい。



■ 商用電源やインバータの伝導ノイズの監視・解析

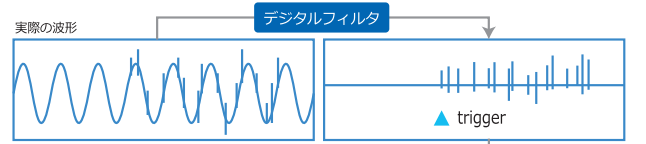
商用ACやインバータからの伝導ノイズの対策に、ノイズ波形を観測し、全てのノイズ特性を解析する必要があります。デジタルオシロスコープの「データログ機能」を利用し、長時間の中で発生するノイズ現象を捉えます。それらをエスチャートで解析することで、ノイズ対策のフィルタの設定など、トラブルシューティングに威力を発揮します。



商用電源を評価する場合、必ず差動プローブを使用下さい。

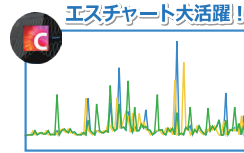
最適なオシロスコープ

MDO-2000E DCS-2000E

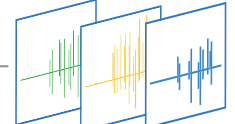


デジタルフィルタ機能を使用し、ノイズでトリガ

データログ機能



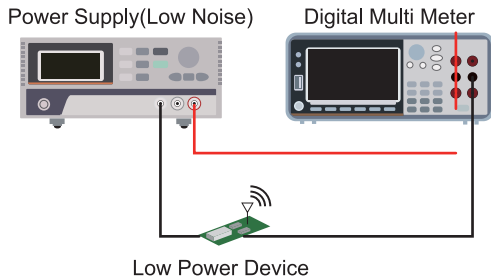
全ての波形を周波数解析。ノイズのスペクトラムを全て重ねて表示



データログ機能でトリガ波形（発生ノイズ）を全て保存

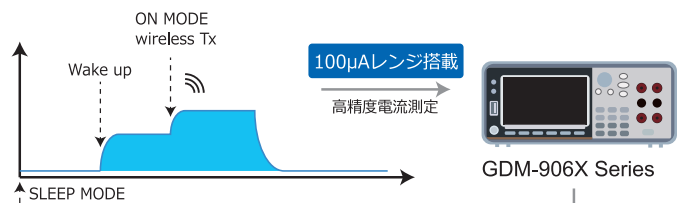
■ 省電力デバイスの消費電力解析

ウェアラブルデバイスや産業やインフラ用のセンサーデバイスなど、省電力で動作可能なデバイスの微小な電流消費をデジタルマルチメータを使用し、長時間測定します。電流波形から、特定のモードで消費された電流積算を演算することで、省電力デバイスのモードによる消費電力を把握することができます。



最適なマルチメータ

GDM-906X

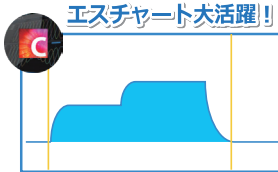


100µAレンジ搭載
高精度電流測定



GDM-906X Series

USBログ転送



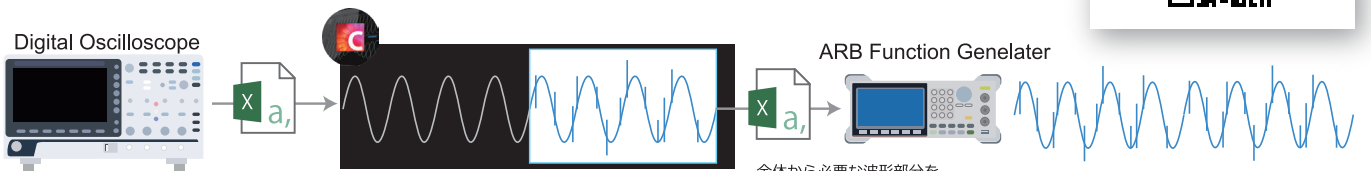
波形から見たい部分を積算演算可能。電圧波形とかけあわせて電力積算も可能。

■ オシロスコープで取得した波形の必要な部分のみ波形再現

信号をオシロスコープで取得し、その波形を再現することは比較的容易にできますが、必要な部分のみ切り取るエディタが必要になります。エスチャートであれば、必要な部分を波形で確認し、CSVにエクスポートすることができるため、トラブルシューティングの効率が上がります。

最適な信号発生器

AFG-303X



全体から必要な波形部分をエスチャートでCSVエクスポート

TEXIO GW INSTEK

株式会社 テクシオ・テクノロジー
TEXIO TECHNOLOGY CORPORATION

本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-18-13 藤和不動産新横浜ビル 7F

お問い合わせは各営業所へどうぞ。 <https://www.texio.co.jp/>

- 北日本営業所 〒330-0801 さいたま市大宮区土手町 1-2 TEL.048-780-2757
 - 東日本営業所 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-18-13 TEL.045-620-2305
 - 中日本営業所 〒464-0075 名古屋市中千種区内山 3-31-20 TEL.052-753-5853
 - 西日本営業所 〒567-0032 大阪府茨木市西駅前町 14-19 TEL.072-631-8055
- アフターサービスに関しては下記サービスセンターへ。
●サービスセンター 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-18-13 TEL.045-620-2786

Smart Energy LABORATORY

<https://www.smartenergy.co.jp/>

株式会社スマートエナジー研究所
Smart Energy Laboratory Co.,Ltd.

本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-12-1 新横浜光伸ビル 5F
TEL. 045-620-0330 FAX. 045-620-0378

●お問い合わせは信用ある当店へ